

養護盲老人ホーム 福寿園 Monthly

平成 21 年 9 月 25 日(金)発行

第 002 号

敬老祝賀会



9月21日の敬老の日に合わせ、園では9月15日に特養・養護合同で「敬老祝賀会」が、ひまわりホールにて盛大に開催されました。来賓の方々、そしてご家族の皆様のご参加を賜り大変華やかな会となりました。式典では長寿を祝い、最高齢の102歳の方には田原副市長より記念品が贈呈されました。また、88歳の米寿、80歳の傘寿の方々にもそれぞれ記念品が贈呈されました。祝宴では、美味しい食事をいただきながら、昭和の時代をスライドとナレーションで振り返りながら、皆様がそれぞれに楽しいひと時をゆったりと過ごされました。



養護盲最高齢の95歳です。

まだまだ元気に過ごしています！



この季節になると、地域からの催し物の招待が今までに増して届くようになります。先月では盆踊り。今月は敬老会、運動会、そして学校の文化祭等々。地域へ出掛け、その輪に入り、一緒に歌い、語らうことを自立支援の一環と考え、積極的に出掛けていけるよう支援しています。

現場より

福寿園の道程 (1)

福寿園の創始者である故山田都企子名誉理事長は平成18年8月23日急性心筋梗塞のため85歳で急逝されました。

福祉や入所者、また職員に対する熱い思いを全力で走り続けられた足跡、また福寿園の歴史を紹介していきたいと思えます。

福祉への芽生えは、肢体不自由の実兄が世間から侮辱や偏見の目で見られたことで、自分が大きくなったら身体障害者の人達の為に「大きな家を造り、その家のお母さんになって守ってあげたい」という幼少の頃からの夢を59歳で実現。当時県内に盲老人ホームは無く、是非愛知県にも...と視覚障害者の方々の強い要望もあり、昭和55年12月25日、定員50名、全国で36番目の盲老人ホームの仲間入りをしました。

開設に当たっては、皆様のご協力と血の滲むような努力の賜物、その方々の心を心として長年苦勞や不自由をしてこられた視覚障害者に安住の場を提供したい...と居室はすべて南向き、室内にトイレ、洗面所も設置、細部にわたり様々な設備が施されていました。

奉職する職員は総て初めての素人集団、寮母は私を始め子育て中の主婦でスタートしました。

施設長 斎藤久代



相談員より ~ 葬儀について ~

当園では入所者の葬儀をサービスで行っております。身寄りのない方、親族と血縁関係の薄い方の多い養護では、必要なサービスと考えております。

30年前の開所当初は先天的に目の不自由な方が多くおられ、その障害ゆえに家族を持たず、天涯孤独といった方も決して珍しくありませんでした。自分の終の棲家をどうか作ってほしいという入所者の熱烈な思いに応えて先代の理事長は園に御位牌堂や供養塔を建てたと聞いております。長年園で生活してきたたくさんの入所者がここで人生の終わりを迎え園の仲間たちに見送られて旅立っていく、その有様を見てきた方にとっては、この園をひとつの大きな家族として捉え、自分も同じように送って欲しいと思うのはごく自然な思いなのかもしれません。

葬儀の様子をご覧になった方からこんな言葉を頂きました。「施設によっては亡くなった方を裏口からそっと出されるところもあります。でもここは亡くなった事実を正面から受け止め、みなさんでお送りしています。とても素敵なことですね。」

よき伝統・よき想いをこれからも継承していきたいと思えます。

現在欠員1名ございます。面接後の即入所も可能です。入所相談等ございましたら、ぜひご連絡下さい。

よろしく申し上げます。

平成21年 9月25日(金)現在

定員 80名 現在入所者 79名

ショートステイ:定員4名 現在入所 0名

〒441-3413

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3

TEL:0531-27-0008

FAX:0531-27-0828

URL:<http://www.fukujuen.or.jp>

E-mail:honbu@fukujuen.or.jp